

国際シンポジウム

基調  
講演

## 台湾人の戦後と日本の記憶

おおや わたる  
大谷 渡 (関西大学文学部教授)

研究  
報告

## 鹿児島地方から植民地台湾への人の移動

—台北市を中心に—

べん ほうけい  
卞 鳳奎 (国立台湾海洋大学海洋文化研究所副教授)

## 総爺芸文中心(旧明治製糖総爺工場)を訪ねて

—台南における旧製糖工場施設の保存と活用—

はしてら ともこ  
橋寺知子 (関西大学環境都市工学部准教授)

## 近代日本出発の記憶

—井伊直弼像の変遷—

さから まりこ  
相良真理子 (関西大学大学院文学研究科博士課程後期課程)

# 日本の近現代と台湾

文化の継承と変遷

2014年3月15日 土

午後1時～3時30分

関西大学第1学舎 A401教室

本シンポジウムは、平成25年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）（基盤研究（C））「戦後日本の社会生活史と台湾—統治下で育った台湾人の日本認識とその変遷の記録化」（研究代表者 大谷渡）の研究成果発表を目的として開催するものである。